

研究課題名	超高齢化社会における病院給食の質と入院患者の喫食量の関連性
研究の意義・目的	<p>医療法人白卯会白井病院(以下、白井病院)は、認知症治療病棟を有する精神科病院で、入院患者さんの大部分は 65 歳以上の高齢者に該当します。また、認知症を伴うご高齢の患者さんでは、原因がはっきりしない食欲不振を示すことがしばしばあります。食欲不振により栄養状態が悪くなり、栄養状態が悪いことは様々な不利益と関係するため、食欲不振を改善することが重要です。</p> <p>本研究では、白井病院において例年実施している病院給食の質改善を目的とした取り組みのデータを利用し、病院給食の質（食材の形態加工や調理方法）と患者さんの喫食量の関連を評価することを目的にしております。</p> <p>本研究により、超高齢社会の進行が予想される日本において、病院給食の質と患者の喫食量の関係性を検証することで、病院食の質の改善を通して、食欲不振による栄養状態の悪化とそれに伴う不利益の予防法の開発に貢献できる可能性があります。</p>
研究を行う期間	倫理委員会研究実施許可日後～2028 年 3 月 31 日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2023 年 7 月 1 日から 8 月 31 日に白井病院に在院・在籍していた患者さんと病院職員を対象とさせていただきます。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>下記情報を本研究に使用させてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者基本属性：年齢、性別、認知症の有無 食数：2023 年 7 月 1 日から 8 月 31 日の白井病院全体の昼食と夕食の食事提供数 食事喫食量評価：2023 年 7 月 1 日から 8 月 31 日の白井病院全体の昼食と夕食の食事残飯量 食事評価：2023 年 7 月と 8 月に実施した病院職員に対する病院食に関するアンケート結果（年齢、性別、アンケート回答当日の体調、食事評価）
試料・情報の他機関への提供	本研究のデータは大阪公立大学 生活科学部 食栄養学科において解析を行うため、得られたデータを共有いたします。
この研究を行っている共同研究機関	大阪公立大学 生活科学部 食栄養学科
試料・情報を管理する責任者	医療法人 白卯会 白井病院 栄養部 西野修平 大阪公立大学 生活科学部 食栄養学科 松本佳也
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することで、ご家族の方も含めいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。なお、白井病院全体の食数と食事残飯量の結果については、個人を対象としたものではありませんので、情報提供の拒否ができないことをご理解・ご了承下さい。
連絡先	医療法人白卯会白井病院 栄養部 (担当者氏名) 西野 修平 電話番号：072-482-2011(代表)